

【目次】

・「LPガス問題」学習会
を開催

……1 ページ

・LPガス調査結果ま
とまる

……2・3ページ

・セミナーのお知らせ
・編集後記

……4ページ

寄付金合計額

ご協力ありがとうございます

731,500円

H27.4~H27.8

「LPガス問題」学習会を開催

LPガス問題を考える会主催の「LPガス問題学習会」が7月13日、北海道立消費生活センターくらしの教室で開催されました。

全国一高い価格の適正化や契約内容の可視化などを求める活動の一環で、ホクネットや消費者協会の会員など27人が参加しました。

講師は一般財団法人エルピーガス振興センターの酒井賢二広報室長。配付資料に基づきLPガスの現況、価格・料金体系、契約関係などの説明がありました。

LPガスの現況では、国別輸入量で2005年度にわずか0.2%にすぎなかった米国が、シェールガス随伴のLPガス増産によって昨2014年度には17%まで上昇。その結果、2005年度85%だった中東が2014年度には72%に低下。国内のLPガス総需要は現在、20年近く前のピーク時に比べ24%減少し、家庭・業務用も8年前のピーク時から18%減少したということです。

配布資料によると、「エネルギー基本計画」(平成26年4月11日閣議決定)は、LPガスが、可搬性・貯蔵性にすぐれ温室効果ガスの排出が比較的少ないことから、国民生活・産業活動を支えるエネルギー源であると同時に、災害復旧に欠かせないものと位置づけ、供給体制の改善、強じん化や料金の透明化を通してコスト抑制を図る、としています。

今年3月に改訂された全国LPガス協会の「LPガス販売指針」は、販売事業者が守るべき5つの原則などを明示しています。

酒井広報室長の説明の後、参加者から価格が全国一高いといわれる北海道の実情や高値の背景について質問がありましたが、詳しいデータがないなどの理由で明快な回答はありませんでした。



講師のエルピーガス振興センター・酒井室長



熱心に聞き入る参加者。

記 木谷洋史

LPガス調査結果まとまる



8割で「基本料金」「従量料金」の区別なし

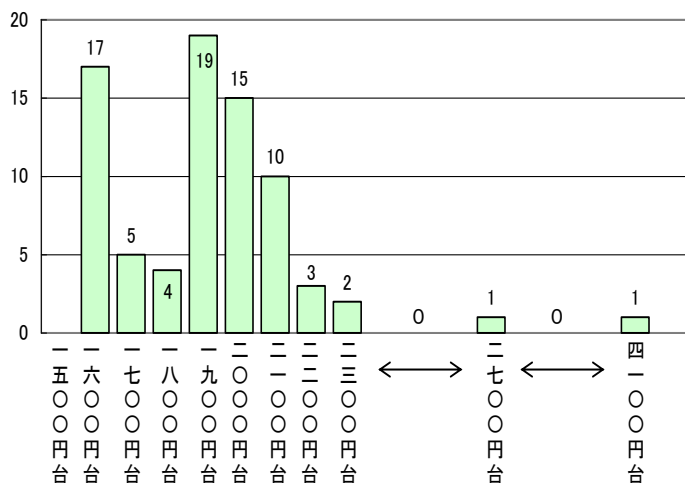
ホクネット、北海道消費者協会、北海道生活協同組合連合会で構成する「LPガス問題を考える会」は5月から6月にかけて実態調査を実施しました。LPガス利用者に協力を求め、事業者から受け取った請求書や料金表などを提供してもらい、アンケート調査も行いました。

その結果、8割の事業者が、「基本料金」と使用量に基づく「従量料金」を区分せずに総額のみで請求し、区分している事業者でもそれぞれの料金で大きな差があることなどが判明。多くの指摘を裏づける結果となりました。考える会は今後、この調査結果を踏まえて要請活動を行います。

「基本料金」で1600円台～4100円台の幅

集計した請求書は91社分318枚です。顕著だったのは、基本料金と従量料金を区分していない事業者が多かったことです。91社のうち「区分あり」は19社(20.8%)77枚。残り72社(79.1%)241枚は料金内訳の記載がありませんでした。

①〈基本料金〉請求書77枚



「ガスの使用量にかかわらず固定的な費用」とされる基本料金では、事業者間だけでなく、同じ事業者でも違いがあることがわかりました。

そこで、区分のある77枚を調べたところ、グラフ①のようになりました。

1600円台が17枚、1700円台が5枚…1900円台が19枚、2000円台が15枚……。

中には使用量によって基本料金が高くなる料金表に基づく4160円という高値もありました。これは固定的費用という基本料金の一般的な説明とは大きくかけ離れています。

「従量料金」では3倍の開きも

基本料金を除いた従量料金では、同じ1.8m³でも836円から1357円まで約1.6倍の開きがありました。2.3m³では1069円から約3.0倍の3164円まで開いていました。

その一方で、1.2m³で43円、1.1m³で48円など他の事業者に比べ著しい低価格もありました。

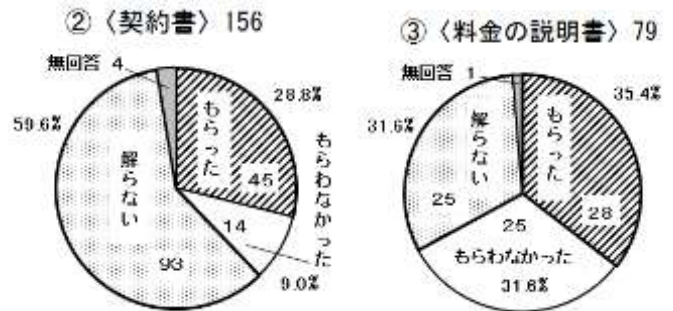
また、基本料金と従量料金の区分のない総額の請求でも、同じ使用量(m³)においてかなりの差が見られました。1.0m³では1836円～3413円(約1.9倍)、2.0m³で2675円～4239円(約1.6倍)でした。

料金システム説明書類「もらわなかった」31.6%

アンケートでは、契約書や料金システムの説明書などの書面交付があったかどうか質問しました。

一戸建て持ち家の利用者では、「契約書もらった」28.8%、「もらわなかった」9.0%、「解らない」59.6%でした(グラフ②)。

一方、集合住宅・一戸建て賃貸住宅では、「料金システムの説明書などもらった」35.4%、「もらわなかった」31.6%、「解らない」31.6%(グラフ③)。「もらわなかった」「解らない」を合わせるといずれも6割を超えました。



料金に不信、不満－利用者の声

日ごろ感じていることの自由記述では36人が回答。4分の3に当たる27人は料金にかかわるものでした。

【料金】

- ・「業者をかえたら毎月700円程度やすくなり驚いた」
- ・「基本料金が高めなので、あまり使わない月でも料金が変わらない」
- ・「基本料金が従量料金とくらべると高いと思います」
- ・「石油製品が昨年から見ると随分値下がりしているが、LPガスはあまり下がっていない」
- ・「適正価格が不明確である」
- ・「管内においても1000円ほどの価格差があるのはどうしてでしょうか」
- ・「検針票兼請求書には、ガス使用料金と消費税の金額が記されているだけで、基本料金などは記されていない」など

【供給体制・保安】

- ・「他のガスが選べないので、早く供給できるようにしてほしい」
- ・「高齢の一人暮らしの多い現代。(中略)安全点検の回数を増やしてほしい」など

「指針」の徹底、事業者変更をスムーズに－要請へ

LPガスは公共性の強い商品であるにもかかわらず、消費者の知る権利を充足させていません。また、全国LPガス協会の「LPガス販売指針」に示されている情報提供・説明、請求書や領収書のモデルと比べ大きな差があります。基本料金や従量料金に大きな幅があることも利用者には納得しがたいものです。

そこで、考える会はこの調査結果に基づき、行政とLPガス業界に①LPガス取引の現状について実態調査を実施し結果を公表すること、②LPガス販売事業者を対象として「LPガス販売指針」に関する講習会を開催し、同指針の徹底を図ること、③利用者がスムーズにLPガス事業者の変更をすることができるように対策を講じること－などを要請することとしています。

結果を記者発表

考える会は8月4日午後、北海道庁内の記者クラブで調査結果を発表しました。



公開学習会のご案内

LPガスについてもっと知ろう

～その料金のしくみや契約は

平成27年10月3日(土)

13:30～15:30

ホテルポールスター札幌 2階



セミナーのお知らせ

今年度も北海道消費者行政推進事業の一環として下記の予定でセミナーを開催致します。皆様のご参加をお待ちしています。(詳細はホクネットホームページをご覧ください。)

分かりやすい相続・ 遺言のおはなし

日 時 9月18日(金)
10:00~12:00

場 所 浦河町総合文化会館
第3研修室

講 師 清水 崇史 氏
(司法書士・ホクネット
検討委員)



悪質な詐欺に

だまされないために！ ～手口の紹介とその対策～

日 時 10月6日(火)
13:30~15:00

場 所 せたな町民ふれあいプラザ

講 師 平松 桂樹 氏
(弁護士、ホクネット検討
グループ長)

詐欺は振り込め詐欺 だけじゃない～いろいろな詐欺

日 時 10月15日(木)
13:30~14:30

場 所 留萌消費者センター

講 師 番井 菊世 氏
(司法書士、ホクネット理事)



マイナンバーのしくみとその影響

日 時 10月23日(金)
10:00~12:00

場 所 登別市民会館

講 師 上机 美穂 氏
(札幌大学准教授、
ホクネット検討委員)

/// 編集後記 ///

今年も三分の二が過ぎ、季節が変わっていくのが速く感じられます。見上げれば、高く感じられる空にヒツジ雲が浮かんでいます。イワシ雲ともいうんだっかしら？と思って調べてみたら、違う種類の雲でした。

イワシ雲、うるこ雲は巻積雲で高い位置にあり、ヒツジ雲、まだら雲、むらくもは高積雲でそれよりも低い位置にできるそうです。

見える形によって呼び名をつけただけのようです。もうちょっとロマンチックな事を期待してしまいました。



内閣総理大臣認定 適格消費者団体
認定特定非営利活動法人
消費者支援ネット北海道(愛称:ホクネット)

〒060-0004
札幌市中央区北4条西12丁目
ほくろビル4F

TEL: 011-221-5884

FAX: 011-221-5887

E-MAIL Info_hokkaido@hocnet122.jp

URL <http://www.e-hocnet.info/>



*次号のニュースレター発行は平成27年10月31日を予定しています。